



今夏は熱中症に注意！

佐賀県 健康増進課

今夏 県内で熱中症疑いによる死亡事例 2件

屋内
で発生

【事例1】

119番通報日時:平成24年7月26日(木)23:21
年齢:80代
市町:佐賀市
発生状況:自宅トイレ前で意識消失

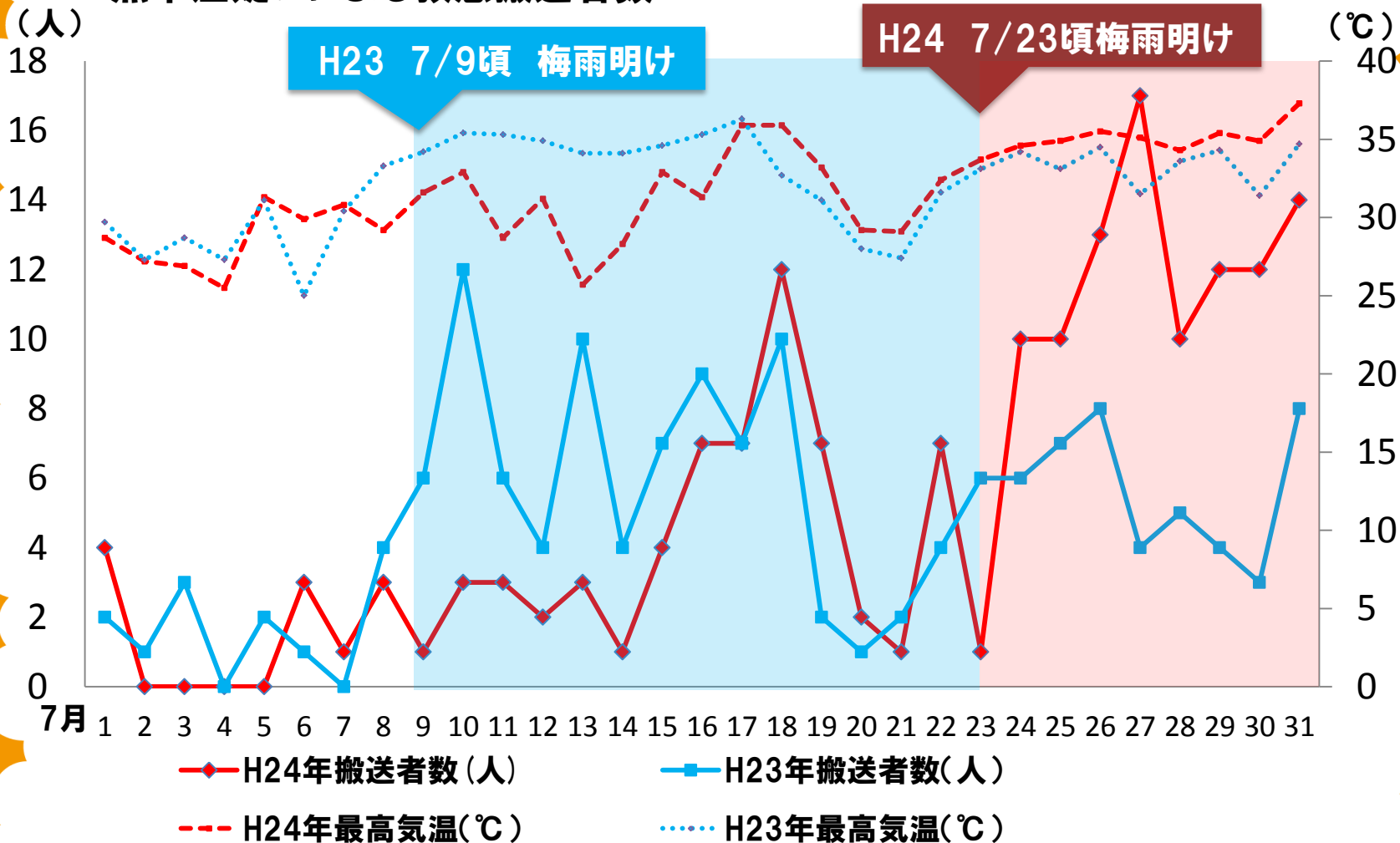
屋外
で発生

【事例2】

119番通報日時:平成24年7月29日(日)12:34
年齢:80代
市町:鹿島市
発生状況:草取り作業中に倒れて意識消失

今夏 梅雨明け後の厳しい暑さに対応できず

熱中症疑いによる救急搬送者数



出典：県健康増進課調べ

年齢別 主な事例、気になる事例

年齢	発生状況、特徴等
乳幼児	14時ごろ、15分ほど車中に放置
少年	部活などスポーツ中(屋内でも発生)
成人	屋内、屋外での作業中の他、日中作業後、帰宅後しばらくしてから発症(特に体調悪い時などに)
高齢者	屋内:在宅中(午後が多いが夜中や朝方も) 屋外:畑や草取りなど農作業中、歩行中

屋内での発生は、全体の約40%

熱中症の予防は「水分補給」と「暑さを避けること」

乳幼児

乳幼児から目を離さない
外出は涼しい時に

- ・車中などでの放置 絶対厳禁！
エアコンつけててもダメ！
- ・ベビーカーでの外出は、
朝早くか、夕涼み後に

少年

合宿の初日や練習後の
休み明けに要注意

- ・新入生は暑さになれず要注意
- ・スポーツ中は、こまめに
水分・塩分補給
(スポーツドリンク、梅干し、塩あめ等)



成人

体調・持病に合わせて注意を

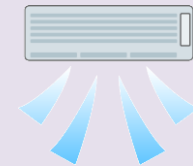
- ・アルコール摂取後(二日酔い)、
睡眠不足、体調不良の時は、
無理をしない
- ・肥満、持病(特に糖尿病、高血
圧、心臓病等)のある人、要注意

高齢者

こまめに水分補給
我慢は禁物

のどの渇きや暑さ感覚鈍くなりがち

- ・のど渇かなくても水分補給
- ・無理な節電、暑さ我慢はしない
- ・室内や夜間は特に要注意



熱中症は、適切な予防をすれば防ぐことができます。

一人ひとりが、熱中症を正しく理解し、自分自身の体調に気をつけるとともに、まわりの人、特に高齢者にも気を配り、予防を声かけ合いましょう。

お問い合わせ先

佐賀県 健康福祉本部 健康増進課

TEL:0952-25-7075 FAX:0952-25-7268

E-mail:kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp

